

平成20年度 建築基準整備促進補助金事業

木の建築の質の向上に関する検討

特定非営利活動法人 木の建築フォーラム

事業の目的

今後の社会経済情勢等の変化や建築を取り巻く環境の変化に的確に対応して、真に質の高い「建築」を目指して、新たな建築基準制度の方向性を探っていくためには、**質の高い建築物**のイメージやこれらの制度を統括する基本的な理念を整理していくことが必要である。

質の高い建築物が備えるべき性能や建築の基本理念等について、建築関係者等のニーズを広く把握し、共通の認識を醸成し、議論を深めていくため、広く提案を募るものである。

調査の内容

(1) 建築の質の向上に関する提案

少子高齢化・人口減少、成熟社会、地球環境問題等の社会経済情勢等を踏まえ、建築の質の向上について、

- | | |
|---------------------|-------------------|
| (a) 質の高い建築物が有すべき性能 | 質の高い木の建築物が有すべき性能 |
| (b) 建築に関する基本理念 | 木の建築に関する基本理念 |
| (c) 建築に係る関係者の責務及び役割 | 木の建築に係る関係者の責務及び役割 |
| (d) その他 | |

等の質の高い建築の基本理念等に関する提案を行う。

質の高い木の建築の基本理念等に関する提案を行う。

また(a)から(d)までを提案する理由・考え方についても、併せて提出する。

(2) 参考資料の提出

(1)で提案する建築の基本理念等の根拠や参考となるデータや資料等を提出する。

木の建築

事業の概要

建築の質の向上に関する制度の検討に資することを目的とし、木の建築が備えるべき質と性能、また関係者の責務と役割について、広い範囲の木の建築に関わる方々への**アンケート**と**ヒアリング（意見交換会）**を実施し、その結果の考察により共通の認識を浮き上がらせることを試みた。

アンケート 回収件数：195

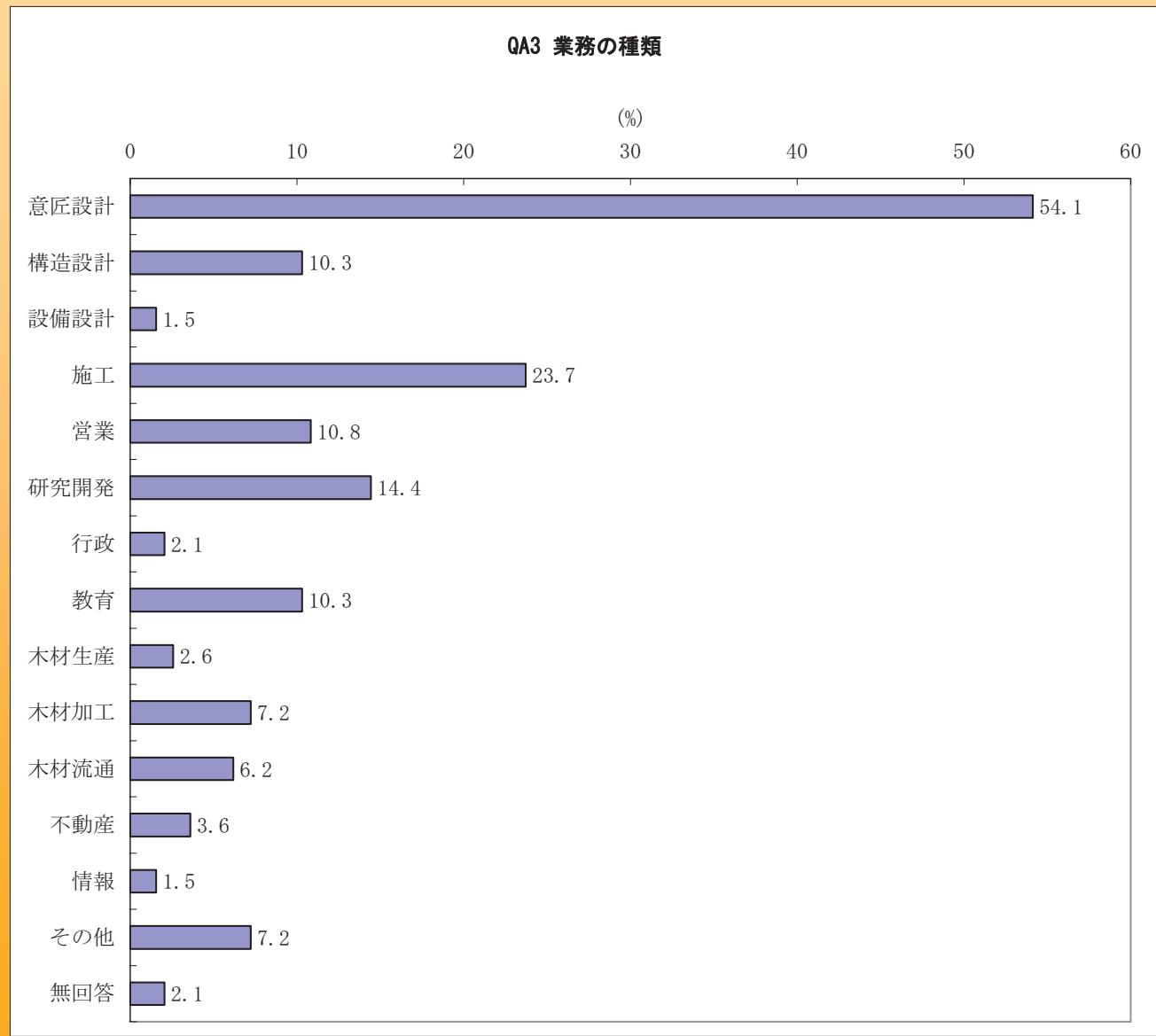
A：回答者の地域、世代、仕事などを明らかにする質問	8問
B：木の建築の質（木の建築賞に絡めて）に関する質問	3問
C：木の建築の質に関する質問	13問
D：良質な木の建築の環境づくりに関する質問	3問
	合計27問

アンケート集計例

業務の種類

平成20年度 建築基準整備促進補助金事業

木の建築の質の向上に関する検討

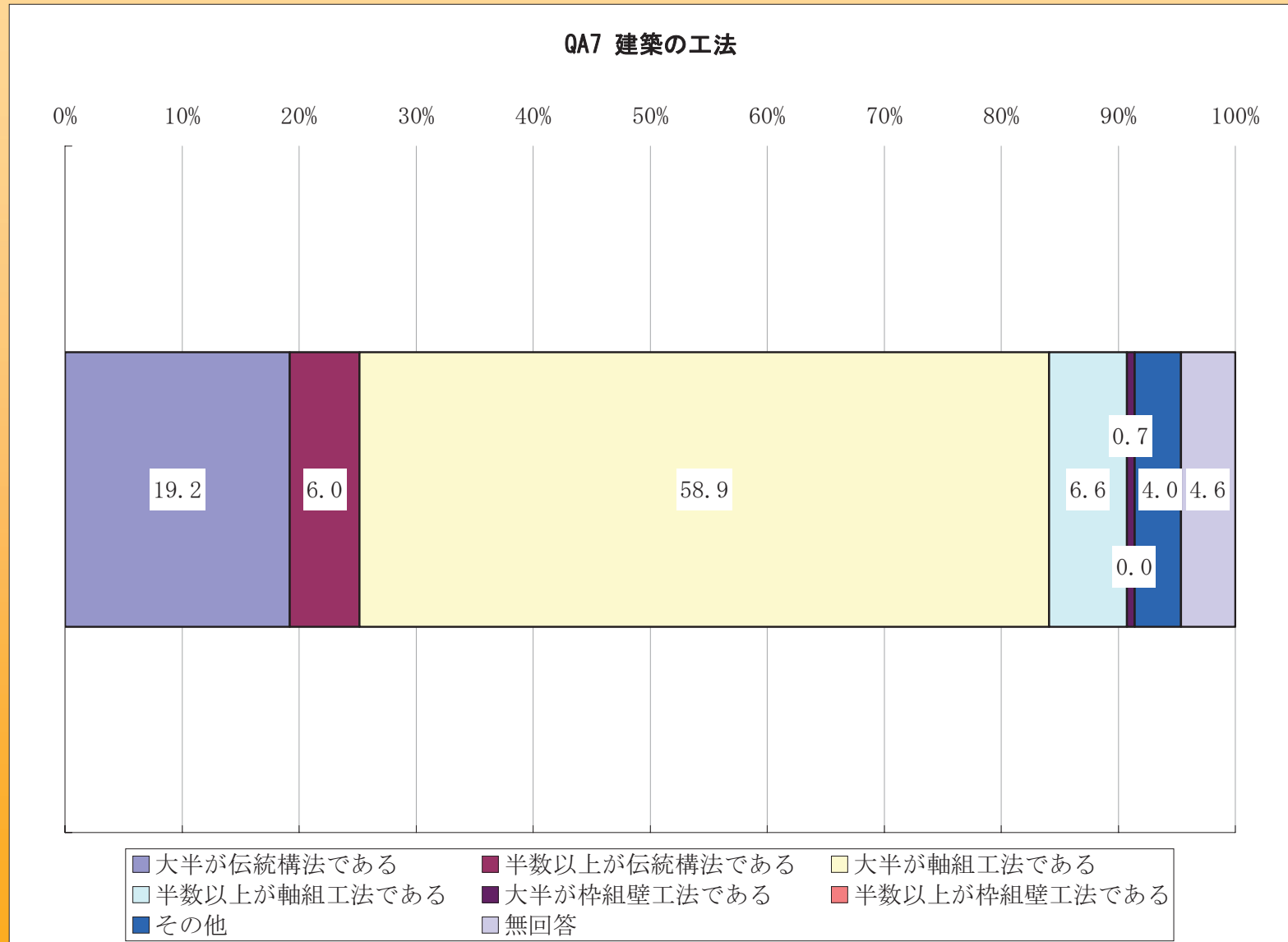


アンケート集計例

所属する会社の建築の工法

平成20年度 建築基準整備促進補助金事業

木の建築の質の向上に関する検討



平成20年度 建築基準整備促進補助金事業

木の建築の質の向上に関する検討

ヒアリング（意見交換会）



日 時：2009年3月1日（日）13:00～16:00
会 場：東京大学農学部 弥生ホールアネックス

ヒアリング（意見交換会）

進行役：三井所 清典 / 株式会社アルセッド建築研究所

出席者（敬称略五十音順）：

相子 芳也 / 有限会社AIKO環境計画

安藤 邦廣 / 筑波大学

入之内 瑛 / 株式会社建築計画研究所都市梱包工房

杉本 健一 / 独立行政法人 森林総合研究所

槌本 敬大 / 国土交通省国土技術政策総合研究所

野沢 正光 / 有限会社野沢正光建築工房

松井 郁夫 / 有限会社松井郁夫 建築設計事務所

三澤 康彦 / M's建築設計事務所

村上 素子 / 若葉デザイン一級建築士事務所

安井 昇 / 桜設計集団一級建築士事務所

緒形 多江子 / 緒形建築設計室

片岡 泰子 / 株式会社お茶の水設計工房

神田 雅子 / アーキキャラバン建築設計事務所

2009年度の計画

昨年度アンケート調査結果より

①意見の精査・分析

課題毎、分野(立場)毎の意見の整理と集約

②課題の検証、まとめ

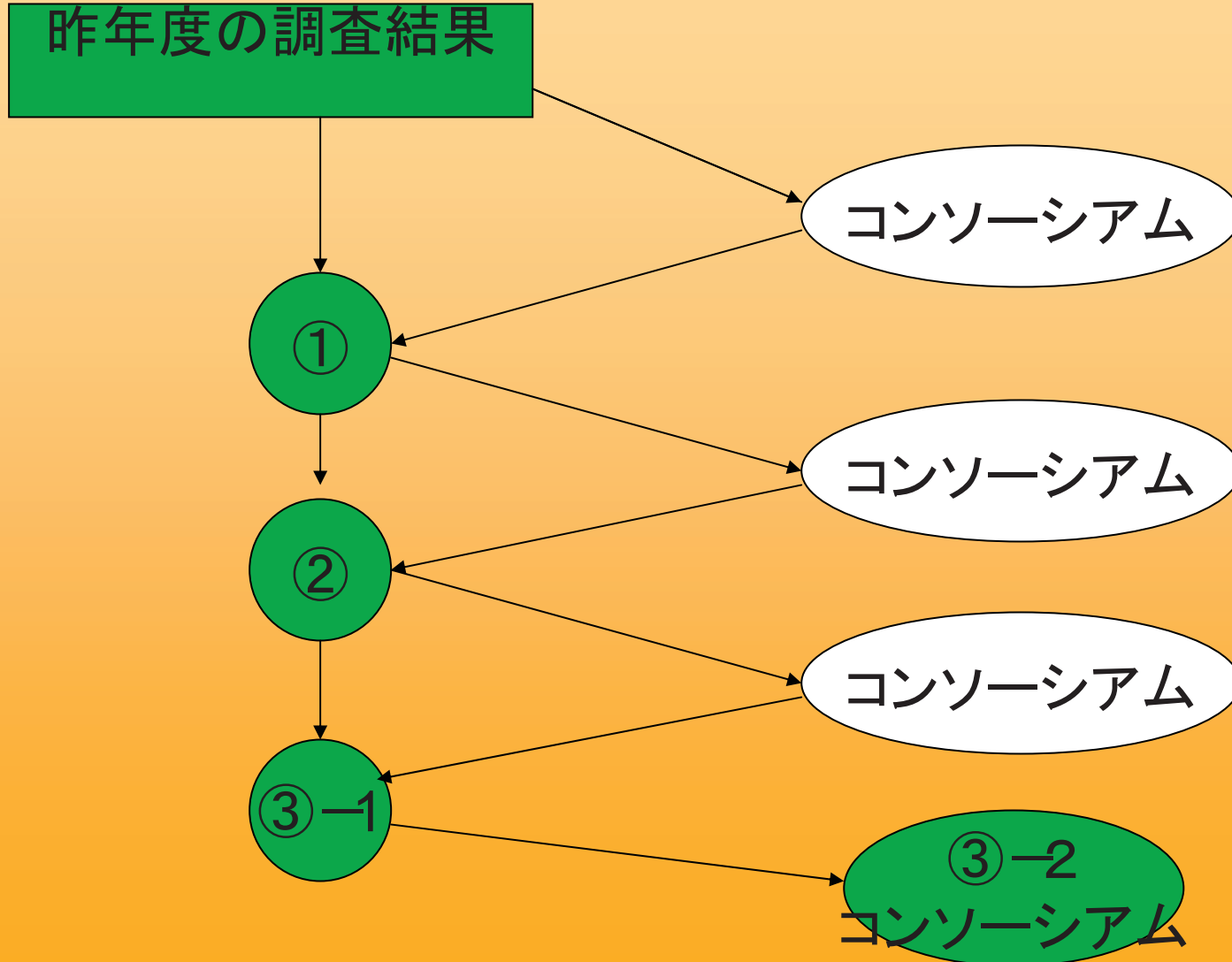
分野毎の代表メンバーでチームを構成

質の高い木の建築(木造建築)が備えるべき

性能や建築の理念等へ具体的提言をまとめる

③他団体の成果との整合・調整

今年度の流れ



① 意見の精査・分析

木材業者、設計、施工、関連の研究者等の木造建築に関わる分野の各々の立場からの課題にどのような意見が多いかを分析、把握する。

- ・発注者の責任
- ・各分野の共通課題の抽出
- ・木の建築の構法タイプ別課題の整理
- ・必要な工学的情報の整理
- ・法と技術の発露に関する課題の整理

②-1 抽出課題の検証

各分野代表からなるチームを構成し、意見から抽出された課題の検証と必要な工学的情報整理を行う。そこから事業目的である次のテーマに対し、NPO木の建築フォーラムとして具体的に提言をまとめる。

テーマ

- (a) 質の高い木の建築（木造建築）が有すべき性能とは
- (b) 木の建築（木造建築）に関する基本理念とは
- (c) 木の建築（木造建築）に係る関係者の責務と役割とは

②-2 質の高い木造建築に 必要な環境づくりに向けて

- ・評価基準となる工学的データの整備。
既存データ及び今後に必要な条件をあげる。
木造関連技術者の活性化を促す。
- ・良好なまちづくりに際し、木造建築の役割・寄与を
探る。

③ コンソーシアムに向けて

③—1

他団体との整合をはかり、質の高い建築に対し、総合的な見地から基本理念、関係者のなすべきことをまとめ、木造関係技術者が意欲的に取り組める社会的環境を整備し、かつ、木造建築の寄与を探る。

③—2

コンソーシアムとしての提言・まとめ